

2020. 3. 21

畑 啓之

木造建築は時が経つといずれは材料が入れ替わる 人間は昨日と今日で同じといえるか？

簡単な問題です。

いま、世界遺産に登録されている世界的に有名な日本の木造建築があるとします。何しろ木造です。しかも屋根は檜皮葺（ひはだぶき）ときています。日本のように高温多湿な環境においては、当然のことながら檜皮は定期的な交換が必要になり、建物の骨格を形作っている木材部分も定期的な補修や取り換えが必要になります。

建築から百年、2百年、そして千年も経つと、建物の多くの部分が更新され、建てられたときの材料がそのまま残っている部分のごくわずかになっている可能性があります。場合によっては、全ての材料が建築当時とは100%入れ替わっている可能性もあります。

このような場合、この今ある建物を世界遺産と呼んでもよいのでしょうか？

ポジティブな考え方：建築当時の姿や建築の精神を今に伝えているのだから  
そう呼んでもよい。

ネガティブな考え方：形は受け継いでいるがその構成材料は昔のままではないので、  
これを世界遺産と呼ぶのはふさわしくない。

どちらの意見にも一理あり、どちらも正しいといえます。どちらが正しいかの判断の基準は「世界遺産とは何か？の定義・精神」です。後世に受け継ぐ人類の資産ということであれば、何百年前、何千年前にこのような建物が作られ、いまもその姿を伝えている、ということでポジティブな考え方で良いのではと私は考えます。

パリのノートルダム大聖堂で大規模な火災、尖塔が焼け落ちる

Bloomberg 2019年4月16日

パリ中心部にあるノートルダム大聖堂で15日、大規模な火災が発生した。

ノートルダム大聖堂は1991年に国連教育科学文化機関（UNESCO）の世界遺産に登録された。

（※その登録「ランスのノートルダム大聖堂、サン-レミ旧大修道院及びト宮殿」は取り消されてはいません）

さて、人間の場合はどうでしょう。人体の組織は多かれ少なかれ日々更新されています。特に、最重要器官である脳に至っては1年で細胞の全てが入れ替わっているとのことで、正に驚きです。

1年前の私と今日の私の脳細胞は異なっている！？ この全脳細胞更新により頭がよくなっていることもあるでしょうし悪くなっている可能性のあるのでは？ 自分が自分であることを継続的にどのように認識し、また、外界にたいする記憶をどのように保持しているのか？ この細胞更新時に何らかの誤りが生じればボケに繋がり、その猶予期間は1年もないのか？

などなど、今の私の脳細胞は考え始めるとキリがありません。

他の器官の細胞も更新していきますから、上の建物の例に倣えば、数年たつとすべての材料が入れ替わっている状態です。3年ぶりにあった人は私を私として認識してくれてはいるのですが、その私は形は同じであるが、私を構成している細胞群は3年前とは異なっている。それでも私は私というわけです。

人体の細胞更新速度 より抜粋

<https://sites.google.com/site/jinntainosaiboukousinnsokudo/>

### 1. 新陳代謝

人体は、1日で1兆個もの細胞を入れ替えています。不要になった細胞は死んで、その近辺の元気な細胞を細胞分裂させて2個にし、その一つを失った細胞に入れ替えて成長させます。人体の細胞の数は、約60兆個で、単純計算すれば、毎日1兆個の細胞が入れ替わり、1ヶ月で30兆個、2ヶ月で60兆個が新しい細胞になっていきます。

### 3. 主な細胞の更新速度

脳 : 早い細胞は1ヶ月で約40%、遅い細胞は約1年で全て入れ替わる。

筋肉 : 早い細胞は1ヶ月で約60%、遅い細胞は約200日で全て入れ替わる。

皮膚 : 約1ヶ月で全て入れ替わる。

血液 : 4.5~5.0リットルの血液は100~120日間で全て入れ替わる。

骨 : 幼児期は約1年半、成長期は約2年未満、成人は約2年半、70歳以上は約3年で全て入れ替わる。

個々の人、人体についてもその細胞が日々更新され、私という自我を保ったまま明日へと命が続いていきます。今、世の中は新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大で大騒ぎとなっていますが、人類ということでは変わることなく継続していくことは確かでしょう。人類は世代交代によりその流れを受け継いでいきますが、そこに外乱が加わったというのが現在の状況です。尋常とは異なる外乱はいずれ消えてなくなるものです。